

観光行事時の市有施設、学校施設の開放について（継続）

桐生市が力を入れている観光誘客に欠かせないのが駐車場、トイレの整備であります。特に土日や祝日を軸に開催される大規模な行事では入り込み客も多く、駐車場やトイレの需要が急増します。現状では対応し切れておらず、駐車場不足、トイレ不足が集客を増やすネックになっています。とはいえ、駐車場を常設しておくのは費用、土地、平日の利用度などを考えれば難しいと思われます。

そこで提案したいのは学校を含む公共施設の活用であります。児童、生徒が登校しない日に限り、大規模イベントの開催日には臨時駐車場として校庭を解放し、あわせてトイレも使えるようにします。公共施設も同じ扱いにいたします。他都市では事例も多いことから、実現可能な施策であると考えます。

この措置に伴い、誘導員の雇用など費用が発生するが、限りある財源を使うのは避け、受益者負担の原則から、駐車場、トイレの使用を有料にして運営もできる仕組み作りをお願いいたします。

桐生市からの回答

大規模な観光イベント等を開催する際における、駐車場やトイレの不足については、主催者にとって課題となる事案であると認識しております。

学校を含む公共施設の活用につきましては、施設を管理する上で問題点等を整理しながら、引き続き関係各課と研究してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 産業経済部観光交流課観光振興担当